

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	S	<p>【優れていると評価した点】</p> <p>自主事業を数多く実施し、施設の魅力を高め多くの来場者を呼び込んでいる点について高く評価する。本施設の設置の趣旨を踏まえ、入居する工芸作家および民話館の語り部とも連携しながら、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めている。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】</p> <p>個人情報保護に関する研修等の機会を確保し、職員の資質向上にも務めること。</p>
---	---	--

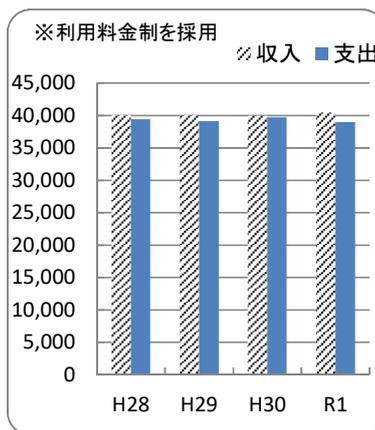
指定管理者	S	<p>【優れていると評価した点】</p> <p>イベントを効果的に実施し、前年度を上回る利用者数となった。外部団体と協働し、施設の魅力アップに貢献した。工芸館において、工房ミーティングを計7回行い、施設の今後に向けて、共通認識を共有することができた。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】</p> <p>職員の研修が実施できなかったため、次年度では、この点を改善していきたい。</p>
-------	---	---

2. 施設利用の増減について

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は全体で、対前年度比106.6%と増加した。 [民話館前年度比 111.4%、工芸館前年度比107.4%] ・利用料収入は、全体で、101.2%と増加した。 [民話館前年度比76.1%、工芸館前年度比140.3%] ・経営状況としては、安定的な経営により黒字が確保されている。また、多くの自主事業に積極的に取り組むことにより施設の魅力を高め、利用者数の増加を図っている。
----	--

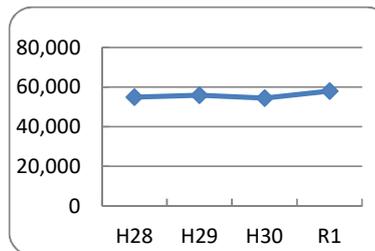
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

項目\年度		H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	40,041	40,046	39,963	40,466
	うち指定管理料	39,772	39,648	39,636	40,135
	うち利用料	269	398	327	331
	支出	39,433	39,149	39,679	38,968
	差引	608	897	284	1,498
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	395	7,888	4,085	21,347
	うち市の修繕費	0	7,834	3,977	20,130



(2) 利用者の推移

(人)			
H28	H29	H30	R1
55,052	56,051	54,418	58,014



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用人数(人)	49,337	50,000	50,204	100.4%	101.8%
	②モニタリングにおける顧客満足度(%)	70	70	97	138.6%	138.6%
	③工芸作家、民話館「とんとお話し会」との連携によるものづくり体験教室や民話の伝承	実施	実施	実施	—	—
	④新緑祭り(5月実施)(人)	2,500	4,000	4,365	109.1%	174.6%
	⑤夏祭り(7月実施)(人)	2,500	4,000	3,630	90.8%	145.2%
アウトカム	モニタリング調査における下記質問事項の肯定的割合(%) ・出雲地方の歴史や文化について関心が高まった。 ・学習の成果を活用したいと思う。 ・生涯にわたって学習したいと思う意欲がある。	70	70	72		
				達成度平均	109.7%	140.0%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】</p> <p>工房ミーティングを7回実施し、施設の在り方やこれから目指す方向などを再確認し、事業に取り組んだことで、有効な結果を得られたと考えられる。次年度は、工芸館のリノベーション工事が始まり、新たな局面を迎えるので、より効果的な運営を行ってきたい。今まで行ってきたイベントという枠での運営は、今後は非常に難しくなっていくので、小規模でもここでしかできない事業をおこなってきたい。</p>	<p>【達成度の原因・分析】</p> <p>工房に同居する工芸作家や、民話館の語り部と密に連携をとりながら、一体となって施設運営に取り組んでいる結果、多くの来場者を呼び込んでいると考える。また、多様な団体等とネットワークを形成し、工芸館、民話館、自然の森で魅力的な自主事業を多く実施している点も要因の一つであると考える。</p>

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
37	①満足している 36件(97%) ②満足していない 0件(0%) ③未記入 1件(3%)	①良い ・ものづくりが楽しかった。 ・知っている神話も、初めて知ったのもあって楽しかった。耳なし芳一のお話も聞いたことあるけれど、久しぶりに聞けて良かった。 ②苦情 なし ③要望 なし

(4)住民サービス向上の事例

各種イベント時における民話館入館料の無料化

3. 自主事業

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県の助成金を活用し、森づくり事業を実施するなど、施設の趣旨を踏まえ自主事業に積極的に取り組んでいる。 ・旧暦の行事を開催したり、かんべの里の二十四節気七十二候を作成し、伝統文化の継承に努めるなど、施設の設置目的に沿った自主事業も数多く実施した。 ・季節のイベント等では施設利用者だけではなく、周辺住民とも協力をして事業を実施するなど地域の活性化にもつながっている。
実施状況	かんべ茶屋、年2回のかんべの里の全体イベント、丘のクラフト展(工芸展)、語りの夕べ、旧暦の行事、新そば祭り、すずめの市、森のプレーパーク、森の楽校、中医薬膳教室、森のステージ作り、水辺の観察会、日曜鉄工講座

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

地方創生拠点整備交付金を活用して工芸館のリノベーションを実施する予定としている。改修後は、市内工芸作家の拠点となるような施設運営ができるよう制度設計に取り組む必要がある。